

第20回九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議 事前アンケート結果概要

令和5年12月6日
九州経済産業局

1. アンケート実施方式

- 調査対象：九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議 構成機関
（議長、事務局を除く計48機関）
- 調査方法：電子メールによる送付・回答（46機関から回答）
- 調査期間：令和5年10月2日（月）～10月27日（月）

設問：

- ① 地域、企業、金融機関において、**GX実現に向けてどのような取組や支援**を行っていますか。
行っている場合、その内容を簡単にご記載ください。
（※SDGsに関する取組の一環として実施している場合も含む。）
- ② ①でご記載いただいた取組や支援を行う上で、**どのような点を工夫**していますか、また**どのようなことが課題**となっていますか。
- ③ GX実現への取組や支援について、九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議の他の構成員やオブザーバー等に対して**聞きたいことがあればご記載ください**。

2. アンケート結果概要①

- 設問①：GX実現に向けてどのような取組や支援を行っていますか。

主な回答

省エネ・再エネ、EV等の導入支援【9自治体、4企業、2温防C、3金融機関、3その他団体】

- ・ 省エネ効果が期待できる既存設備の更新や機器の導入経費の一部を補助。
- ・ 再エネ（メタン発酵処理、太陽光発電）に係る自治体、企業、金融機関による連携の支援。

省エネ対策等に関する情報発信【5自治体、1企業、5温防C、4その他団体】

- ・ コンソーシアムを結成し、情報共有を行っている。
- ・ 中小企業に向け施策や中小企業での取組事例に関する情報収集提供を行った。

省エネ・再エネ設備、EV等の導入【2自治体、5企業、1温防C、2金融機関、2その他団体】

- ・ 太陽光発電等、地域の資源や特性を活かし再生可能エネルギーの最大限導入。
- ・ 市有施設の脱炭素化（再生可能エネルギーの導入や大型蓄電池を活用した電力の需給調整、照明のLED化などの省エネルギー化等）

省エネ等相談事業【2自治体、1温防C、3金融機関、4その他団体】

- ・ 現地を訪問しエネルギーの使い方を診断。使用エネルギーの削減や再エネの提案をいたします。

セミナーや勉強会の実施【4自治体、4温防C、2その他団体】

- ・ 中小規模事業者向け脱炭素・省エネセミナーの開催

GX実現に向けた目標、推進委員等の設置【1自治体、4企業、3その他団体】

- ・ 2030年における数値目標を設定し、グループ一体となってCN実現に向けて取り組みを進めています。

2. アンケート結果概要②

- 設問②：取組や支援を行う上で、どのような点を工夫していますか、またどのようなことが課題となっていますか。

主な回答

工夫

- 補助金や認証制度は事業者が幅広く申請できるよう書類等の簡略化に努めている。【自治体】
- また、GXリーグへの参画を通じ、カーボンニュートラルの実現に向けて同リーグのコンセプトである「リーダーシップ」を発揮するとともに、参画企業をはじめとしたステークホルダーの皆さまと協働することで、日本のGHG排出削減に向けた市場のルール形成や、ビジネス機会の創出等に最大限貢献していくこととしている。【企業】
- 自治体との密なコミュニケーションを図り、水素需要や他社取り組みなどの現況把握を行っている【企業】
- セミナー、勉強会等を商工会議所を通じて、県内企業に幅広く呼びかけている。【温防センター】
- お客さまとの対話を通じて、SDGs/ESGの課題や取組状況を把握・共有し、お客さまの経営課題やニーズに応じた幅広いソリューションを金融・非金融の両面で提供している。【金融機関】

課題

- 補助金や認証制度を周知するための広報が十分にできていない【意見多数】
- 中小企業においては、GXに取り組みなければならないということは理解していると感じられるが、取組に係る費用や手間などを理由に優先されていないと感じる。また、「自社の規模でやっても」というような風潮もあるのではないかとと思われる。【意見多数】
- カーボンフリー電力・水素やCCUSなどの周辺環境整備や超革新技術の開発・実機化のための大規模投資に対する政策支援策の早期整備【企業】
- 太陽光発電導入において、公共施設では設置範囲及び電力消費が小さいことによる事業性の低さ、民間では再エネ100%電力切替契約によるコスト高が課題となっている。【自治体】

2. アンケート結果概要③

- 設問③：GX実現への取組や支援について、九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議の他の構成員やオブザーバー等に対して聞きたいことがあればご記載ください。

- 1) 事業所向けセミナー等で講話をしてくださる講師等のご紹介を賜りたい。【複数回答】
- 2) GX実現の取組や支援の中で、好事例があれば教えてほしい。【複数回答】
- 3) 農業・林業分野のGXの取組について、事例があれば紹介してほしい。【その他団体】
- 4) 各種取り組みにおける設備建設費用支援に加え、その後のオペレーションコストに対する支援の枠組みについて、検討していることがあれば伺いたい。【企業】
- 5) 先進的な取り組みを行っている事業者からの声として、「補助金の使い勝手が悪い」との声を聞いている。事業者が使いやすい補助金の制度設計を行っていただきたい。【自治体】
- 6) 自社におけるGXの実現が、様々な業種・業態の企業にとって喫緊の課題と認識されるような社会となるまでに、地域金融機関として、お客さまのGX実現を支援する体制とソリューションメニューを整えることは不可欠と考えている。脱炭素を喫緊の課題として捉えられていない中小企業に対して、GX実現に向けた取組みを促すために活用できる政策はあるか。【金融機関】
- 7) 改正省エネ法の施行に当り非常に複雑なエネルギー把握方法が盛り込まれており、換算係数やエネルギー発生・消費の形態の理解に相当な混乱が生じており、国からのきめ細かい説明が必要なのではないだろうか。【その他団体】
- 8) 補助金など支援制度に係る情報の伝達について、現在、HP、業界団体等を通じたチラシの配布を行っているが、その他、有効な伝達手段があればご教示いただきたい。【温防センター】

2. アンケート結果概要③

- 設問③：GX実現への取組や支援について、九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議の他の構成員やオブザーバー等に対して聞きたいことがあればご記載ください。

- 9) 国有林野では、送配電事業や再エネ事業に関しても、森林の公益的機能の発揮など適切な管理経営との調和を前提に、国有林野の利活用について協力しているところです。国有林野にかかる手続き等についてご相談があれば、九州森林管理局や各地域の森林管理署までご連絡をお願いします。【九州森林管理局】
- 10) 気象データ利用に関する要望や困った点があればお聞かせいただきたい。【福岡管区気象台】